

## 令和元年度第3回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 会議録

1. 日時 令和元年9月30日(月) 13:30～15:00
2. 場所 瑞浪市役所 2階大会議室
3. 出席者 橋本 孝晴 (座長)  
庄山 敦子  
度会 淳彦  
口石 大樹  
坂本 一  
桃井 直人  
石本 那奈子  
足立 美樹  
正村 和英  
[名簿順、敬称略]
4. 欠席者 景山 龍夫  
[敬称略]
5. 事務局 梅村 修司(企画政策課長)  
加藤 昇 (企画政策課企画政策係長)  
加藤 利基(企画政策課企画政策係)
6. 日程 座長あいさつ
  1. 議事
    - (1) 第2回会議録(案)について
    - (2) 2次評価に関する意見交換について(意見書案確認)
  2. その他

事務局 皆さまこんにちは。定刻となりましたので、令和元年度第3回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を開催いたします。会議の冒頭につきましては、事務局で進行させていただきます。本会議は、公開とされております。本日傍聴の方もお見えですので、よろしくお願いいたします。それでは、レジメに沿って進めさせていただきます。  
初めに橋本座長より御挨拶をお願いいたします。

座長 皆さま改めましてこんにちは。着座にて進行させていただきます。本日は、ご多用のところご出席いただきましてありがとうございます。前回までに、「瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略」掲載事業のうち20事業について、担当課から1次評価の説明を受けました。皆さまにおかれましては、2次評価を行っていただきましてありがとうございました。本日は、皆さまの評価について意見交換を行い、これら事業の実効性を高めていきたいと思っておりますので、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。

事務局 ありがとうございます。  
それでは、議事に移ります。以降は、座長に進行させていただきます。

座長 それではこれより進行を務めさせていただきます。  
議事事項 2. 前回の会議録の確認について、事務局より説明をお願いします。

#### 【(1)第2回会議録(案)について】

事務局 それでは、資料1「令和元年度第2回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議会議録(案)」をご覧ください。これは、8月27日に開催しました第2回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議の会議録案であります。今後は、皆さまの御承認後、市ホームページなどで公表させていただくこととなりますので、御確認をお願いいたします。

座長 それでは、資料1の第2回の会議録の確認でございますが、御意見御質問がありましたらよろしくお願いいたします。非常にたくさんの事項でございますが皆さまが発言されたところ等々について、不備などございましたらここで伺いたいと思います。いかがでしょうか。

参加者 (意見なし)

座長 それでは第2回会議録については、これをもって確定させていただき、公表することいたします。  
続きまして、2次評価に関する意見交換について事務局より説明をお願いいたします。

#### 【(2)2次評価に関する意見交換について(意見書案確認)】

事務局 それでは、資料2「意見書(案)」をご覧ください。1事業ごとに、皆さまの評価と御意見に

基づき、意見書(案)を取りまとめました。1、2ページに総括、3ページ以降に2次評価を、最終ページに次期総合戦略についての御意見を記載しています。この場で記載内容等を御確認いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

座長                    ありがとうございます。最初のページは全体の総まとめでございますので、3ページからの2次評価について意見交換を行っていきたくと思いますがよろしいでしょうか。

                          それでは、なかなか意見が出ない場合もあるかもしれませんが、できるだけ1人一つから二つの発言をお願いしたいと思います。意見が出ない場合は順番に指名させていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

                          それでは、1番目、若者世帯民間賃貸住宅入居奨励金交付事業でございます。これについて御意見御質問がございましたらよろしくお願いいたします。いかがでしょうか。自分自身で書かれた部分は大体わかってみえると思いますが、皆さんの御意見と違うなどあれば、御意見をいただきたいと思います。それでは、順番に御指名させていただきます。

参加者                PRが有効であるかどうかは検証が難しいですが、他の広報のやり方を打ち出していく必要があると思います。本学ではPRポスターを駅など人の目に触れる場所にも設置しています。費用のことはあるかもしれませんが、継続してPRしていかないと難しいと判断しました。

座長                    ありがとうございました。そのほか、いかがでしょうか。一つの事業に2人ぐらい御意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

参加者                おそらく、他の市町村でも同様の取り組みを行っていると思います。東濃地区へ来ようとした人達が、瑞浪市はこのような制度がないのかとなるのは、残念なことですし、地道に継続していくことで、定住者を増やしていくことができますので、継続すべきだと思います。

座長                    ありがとうございました。そのほか、御意見があれば伺いたいと思います。

参加者                民間住宅に入居された方の家賃を奨励金という形で支援するというのですが、一定の期間を過ぎても、件数の実績は目標よりかなり下回っているのです、何らかの方法を考えていかないと継続してもそれほどの効果にはならないと思います。方法を工夫する必要があると思いましたので、現施策については、とりあえず終わったらどうかということで判断しました。

座長                    ありがとうございました。実際今言われたとおりで、なかなか表面に成果が上がってこないというのが現実だと思っております。何らかのいい方策があれば、新たな分野に回していくことも必要ではないかと思えます。しかしながら若者をもっと、瑞浪市で雇用して増やしていくというのは非常に大事なことだと思いますがいかがでしょうか。

                          本事業は、ほとんどの方が継続でC評価となっております。新たな方策を見つけつつ継続していく方向でと思いますがいかがでしょうか。

事務局 皆さまからの御意見は、第2期の次期総合戦略を策定するにあたり参考にさせていただきます。忌憚のない御意見をよろしくお願いたします。

座長 はい、わかりました。それでは、1番目の若者世帯民間賃貸住宅入居奨励金交付事業につきましては終了したいと思います。続きまして、移住定住情報発信事業につきましては御意見がある方ございましたらよろしくお願申し上げます。

参加者 先ほどの事業と繋がっていると思いますが、若者世帯へのPRの仕方が、パンフレットを作成しPRしたというところにだけこだわっているのではなく、もう少しその情報媒体を広げるような工夫が必要ではないかと感じました。スマホなどいろいろな媒体がございますので、PRの仕方を見直す時期ではないかと思います。

座長 ありがとうございます。

参加者 移住定住に向けたパンフレットですが、各自治体がいろいろな工夫を重ねて行っていますので、瑞浪市がどういう特徴を持っているのかをもっと明確にPRした方がいいと思いますし、それが何かというと、例えばエリアをどこに置くのか、ターゲット層をどこに持つのか、やはり瑞浪市として特徴のあるPRの仕方が必要になると思います。また、PRできる時期、今でしたら「麒麟が来る」など、瑞浪が目されている時期に、東美濃の連携も大事ですが、いかに瑞浪を皆さんに知ってもらうことがあわせて必要かと思います。

座長 ありがとうございます。やはりターゲットをある程度絞ってPRしていくというのも言われたように非常に大事かと、全てのものに対してPRするより、やはりターゲット、地域を絞って発信していくというのも非常に大事かと思います。

事務局 ありがとうございます。お二方からいただいた御意見のとおりパンフレットを作成し全国に向けてPRしますというのは確かにこの移住定住情報発信事業の一つの取り組みではありますが、パンフレットだけではなく、ホームページあるいはいろいろな手段、イベント時には、「瑞浪市はこういうまちですよ」などをPRすることも情報発信ですので、いただいた御意見のとおりです。それから、確かに地方創生総合戦略というのは、国が平成26年度10月に法を定めたときに、各市町村でも総合戦略を策定し差別化を図りなさい。先ほどの御意見とおりです。1番目の若者世帯民間賃貸住宅入居奨励金も各市町村で同様な取り組みをしている中で差別化を図ることが一つの手段ですが、商品券の金額を上げると、各市町村が段階的に体力そぎながら、市の魅力を発信する方向は少々違うのではないかと思います。どういったものに本当にお金を掛けるか、直接的な金銭でのメリットではなく、瑞浪市の魅力を他市との差別化を図り、移住定住に促していくという正に今の御意見とおりに思います。本当はこういった御意見をいただく会議に、各担当の者に聞かせるのが本当だと思います。本当に貴重な御意見をいただいておりますので、いただいた御意見を我々は各課に伝え、しっかりと次の総合戦略に反映させていくというのが企画政策課の仕事だと思ってお

ります。次の総合戦略は、今の総合戦略より深化したものにできるよう頑張っていきたいと思  
います。御意見ありがとうございます。

座長                    ありがとうございます。それではそのほかに何か御意見がなければ次へいきたいと思  
いますがいかがでしょうか。続きまして、夢づくり市民活動補助事業につきまして、いかがで  
しょうか。

参加者                瑞浪市の中でも各地区でそれぞれに特徴があり、その地区の魅力や自慢、特色など自  
分のまちの売りがあると思います。それを、ライバル感ではなくお互いが認め高め合うこと  
で頑張ることができたらいいと思います。そういう形で市民活動を応援していけばどうでし  
ょうか。

座長                    ありがとうございます。

参加者                補助金を交付することで、市民団体の皆さんの意欲が向上し、また質が向上していく取り  
組みだと思えます。

座長                    ありがとうございます。市民活動の補助金については、瑞浪市の場合、まちづくりというも  
のが非常に活発に行われ、非常に有効的かと思えます。他市と比べここまで支援している  
市は少ないと思えますが、継続する中で何かもっといいことがあれば、改善しながら行って  
いかれたらと思えます。継続は非常に重要なことだと思えますので、私も継続ということで評  
価させていただきました。

そのほか何か。ほとんどの方がA評価、継続ということでございますので、これはこのとお  
りに行っていただきたいと思えます。それでは続きまして、4番目の市民活動補償保険事業  
につきまして、よろしく願います。

参加者                補償保険という意味合いで、皆さんの万一のときに強制的に掛けるものですから、継続は  
必要ではないかと思えます。

座長                    ありがとうございます。当然これは市民活動により不慮の事故が起きた場合の補償でござ  
いますので、今活発にまちづくり活動やいろいろな取り組みには、当然事故も想定されます  
ので、当然継続する必要があると思えます。皆さんの御意見は、ほとんどの方が継続とい  
うことでございますが、見直し継続もあります。評価としてはAとBということになっており  
ますが、いかがでしょうか。皆さんの御意見のとおり、継続で行っていただきたいと思  
います。それでは続きまして、5番目の主食費無料化事業につきまして、よろしく願います。

参加者                子育て支援の一環として、経済的支援ではありますので、大変有効な事業であると思  
います。継続をされていいかと考えております。

座長                    ありがとうございました。

参加者                主食費だけが、今、無料化ということですが、今後子供が減ってくるという状況もありますし、やはりこういうところで特色化を出していくことによって、定住者や移住者が増えていくのではないかと思いますので、これをどんどん拡大していくことは、ひとつの夢であるかとは思っています。

座長                    ありがとうございます。そのほか御意見がありましたら、伺いたいと思います。移住定住関連事業でございますけど、まずは、子育て支援がやはり非常に重要だと思います。全然話は違いますが、昨日から、消費税増税対策の一環であるプレミアム商品券の販売を始めました。昨日の日曜日販売しまして、1日40件ぐらいの方がお見えになり、今日も午前中で60件ぐらいお見えになりました。これは子育て世代の3歳未満の子がいる方、低所得者の方を対象にしたプレミアム商品券です。やはり子育てというのは、移住定住も大事ですけど子供を育てることによって人口も増加していくということでございますので、必要不可欠なものだと思います。他市と違いを出し今後も実施していかれたらと感じております。  
                          そのほか何かありますでしょうか。

参加者                子育て世帯の方にとっては、主食費の無料化は、非常にいいことだと思いますが、実際に受け入れられている方が、瑞浪市の支援であることをきちっと理解されているのか、受ける側からすればメリットがあつていいと思いますが、やはり瑞浪市から子育て世帯を援助していることが果たしてきちっと届いているのか、せっかくいいことを取組まれても他市の方々に瑞浪市が特徴ある取り組みを行っていることをいかにPRされ、理解されているのか、事業を行っている割に伝わってくるものが弱いというのが正直な感想です。

事務局                御意見ありがとうございます。確かに、中学校卒業までのお子様の福祉医療費無償化も瑞浪市は、他市に先駆けて行ってきましたが、他市も徐々に同様の取り組みを行うようになり、横並びになってくると瑞浪市の特徴は薄れてきます。主食費無料化も、早いうちに取り組んできましたが、この10月から幼保無償化という中に溶け込んでしまって、結局、全国一緒になっていまして瑞浪市内のお父さんお母さんまたその周辺のお父さんお母さんが、瑞浪市は、他市と比べてこういう点がいい、こういう点は土岐市のほうがいいなど、そのあたりを全て理解しているのか図るものがない、わからないというのが事実ですが、確かにおっしゃられたとおりせっかくいい試みを行っていても、市民に伝わっていない部分は確かにあると思いますので、情報の出し方で金銭面での有利をあまりPRするというのは、あまり有効ではないと思います。それ以外に瑞浪市の教育や自然環境など、瑞浪市の差別化というところをどこで図っていくかというのはもう少し考えた上で、行った方がいいと思っておりますが、確かに、伝わっていないところは反省しないといけないと思います。

座長                    ありがとうございました。移住定住と若者世代の支援が伝わっているかどうかという、瑞浪市独自の何か魅力ある事業をPRしていくのが非常に大事かと思つています。

そのほか御意見があれば、よろしいでしょうか。それでは続きまして、6番目の放課後児童クラブ事業につきまして御意見があれば、お伺いします。これもほとんどAとBということでございますが、いかがでしょうか。

参加者 女性の観点からは、放課後児童クラブは、今、瑞浪市のほとんどの地区に、学校ごとにあるということですが、陶はなく、日吉が夏休みなどにしか行っていません。夏休みにしかなく、平日の学校があるときにはないということなので、全部の小学校で放課後児童クラブあるといいと思っております。継続をお願いします。

座長 ありがとうございます。そのほか御意見いかがでしょうか。  
我々の年代からするとこういうものがあることを、ここへ来て初めて知ったわけで、本当に皆さんの御意見をいただきながらやっていきたいと思いますが、当然継続していかなくてはならないと思います。ただ若干今言われたように、まだないところについて、そういう場をつくっていただくような方向で進めていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

参加者 就業支援として全体的に必要なというのはそのとおりだと思いますが、まず目標の280人が、放課後児童クラブ事業として預かれる人数か、キャパがどのくらいで280という数字が出てきているのか、280人に対して結局260人くらいで横ばい推移してきている。これは、逆に言うの一つは、世帯数が減っている中、260人を維持しているのか、世帯が増えているのにもかかわらず登録者が増えていかない。だから、地区において設置されてないところがあるなど、そのあたりをきちっと把握した上で、新たな目標を設定していかないと、事業の必要性は間違いなくありますが、今後の運用としてどうなのかという部分で、検討が必要ではないかと感じています。

座長 ありがとうございます。

事務局 確かにおっしゃるとおりで、総合戦略を策定した時に当初の目標値を令和元年度までに280人と定めた根拠は、この時にニーズが280人あったのか細かいことは承知していませんが、あくまでも各地区にあれば、それはそれにこしたことはないですが、学童の先生のなり手や費用がかかることですので、ニーズに対して100%あるということが目指す姿だと思います。目標人数にするのであれば毎年、変わってきてしかるべきだと思いますので、そういったことも含めて、ニーズに対しての実績値、これを100%にするというのがいいかと思います。例えば、日吉が長期休暇期間しかないというのは、そもそもニーズもなく、お爺ちゃんお婆ちゃんが近くにいて、夕方に見てくれるから預けたい子がそんなに多くないからです。1学年10人弱ですので、仮に3学年の中で、2人ぐらいいたとしても、その2人のために先生を1人雇ってその2人が先生の人件費を払ってまでというところがあり、そのニーズに対しての100%で行くかどうかというところも実は細かいことを掘り下げていくと難しい事業だとは思いますが、いずれにしてもそういった預かり先が欲しいお父さんお母さんが、日吉ではなく、近くの明世小学校の放課後児童クラブで面倒を見てくれるところがある、ある

いは、陶では児童館で預かる、というようなほかの方法で、ニーズが満たされるのであれば、それも含めて満足度になり、この事業の目的である、お父さんお母さんがいない間、子供を預かってくれるところがある。ということになると思いますので、目標値の設定方法や評価の仕方をもう少し掘り下げて改善していけたらと思います。

座長                   ありがとうございます。そのほか何か御意見あればお願いします。

参加者               5年生、6年生は学童に行かなくて、塾などに行ってしまう。一番大切なのは、1、2年生で、特に1年生は学校から早く帰ってくるので、親としては本当に心配です。ニーズと実際の状況をすり合せた取り組みが必要です。

座長                   ありがとうございます。本当に必要なところに欲しいというのが現実でございます。それではこの事業はここで終わりたいと思います。7番目の幼稚園空調設備整備事業につきまして、何か御意見あればと思いますが、これは皆さん、全ての方がA評価で終了ということでございます。全ての幼稚園に対して、設置ができたということでございますので、ハードは完了しましたので、いかに児童に合った空調の取り扱いができるか。ソフト面でいかに活用していただくかということだと思いますがいかがでしょうか。これは皆さん一致した御意見でございますので、これで終了したいと思います。次に、8番目にいきたいと思ひます。合併処理浄化槽設置補助事業につきまして何か御意見御質問があれば承りたいと思ひます。

参加者               合併浄化槽、下水道の関係だと工事はものすごくお金がかかるわけです。そして、かなり離れたところ1軒に対して、そこまで下水道工事をできるかできないかという瑞浪市だけではなく、他市もあり、その対策では合併浄化槽は非常にいいものだと思います。やはり未だに汲み取り式の方に少しでもそういう補助ができるかというようなことがあればこれも一つの自治体の仕事かと認識しました。

座長                   ありがとうございます。今言われたように費用対効果から考えると本当に下水道整備ばかりでは、大変な事業になってしまいますので、広域な市町村では絶対必要かと思ひます。何かそのほか、これに対して御意見はありますか。この事業の目標値が1800件ということでございますが、これはある程度何か根拠がある数字かと思ひますが、先日の説明からいくと1800件設置してもまだまだ相当な数があり、大半が設置できていないというようなことでございましたがいかがでしょうか。

事務局               第1回会議録の17ページをご覧くださいませでしょうか。目標の1800件の根拠の問いに対して、担当課が1800件とした理由は、平成25年度から上乘せ補助の拡大を始めて、年間平均で50件くらいの浄化槽の設置件数でした。ということで、もともとニーズに対して設定したものではないみたいです。これこそ本当に田舎暮らしで、浄化槽は要らないという方も中にはお見えなので、全世帯が水洗化というのはやはり難しいです。100%水洗化はないにしろ、目標数値の設定根拠がありそれを目指したものなのかと言われると難しい目標数



値であり、あまり根拠が明確でないところがあると思いますので、このあたりも見直さないといけないと思います。

参加者 目標には、上乗せ補助分が含んでおりまして、通常の国県の補助と市が単独で上乗せ補助を行っていますので、令和元年度までの5年間で行っている状況で今までのペースよりもそれをさらに上げていこうということでの1800件ですが、残念ながら、最近設置する方が少ないようなので数字が伸びていないのが現状です。それに向かってまずは設置していきたい数字ということでの1800という目標数値を掲げて行ってきたものです。実際には、昨年度末までで1709件ですが、何とか今年度90件で目標達成できますけど、なかなか実績からすると厳しいかなというところではあります。何とかできそうだとところの数字を掲げて行っているものでして、これで全てこの期間の水洗化100%目指しているわけでは当然ありませんので、そのあたりは御理解いただいて、ただ、県は今も水洗化100%目指すということは言っておりますのでそこに向かっていろいろな手法を使いながら行っていくと、残された手法は、公共下水もほぼやめましたので、この合併浄化槽を設置し、汲み取りの方もしくは単独槽の方も、合併浄化槽にかえて、きれいな水を流していくという形をとりたいということは担当課も持っておるところですので、今回の御指摘もいろいろありますので、しっかり伝えて次の目標に繋げていければと思っています。

座長 当然水洗化はこれからも順番に行っていかななくてはならない事業でございますので、継続ということでよろしくお願ひしたいと思います。それでは続きまして、ここからは、第2回目からの事業になります。それでは、9番目の東濃圏広域観光PR事業につきまして、何か御意見があれば、承りたいと思います。

参加者 当初お話があった事業内容のところ、国内外にPRしますという記載がありまして、以前質問させていただいたと思いますが、これまでに海外に向けてのPRが単発的なものが多いというお話がありましたが、やはり時代的に世界に向けて、インターネットやSNSで結構海外の情報が気軽に見ることができ、また、逆に観光に繋がったということが多いと思うので、ぜひ時代に合った告知方法を取り入れていただいて、いろいろな国や場所にPRしていただけたらいいかと思います。

座長 ありがとうございます。そのほか何か御意見があれば、よろしくお願ひします。やはりこれから広域観光PRなどはSNSが非常に重要ではないかなと思います。特に今、観光のPRをするには何が一番有益かということを見ますと、インスタグラムが一番有益だそうです。やはり若い女性が一番使っているSNSはインスタグラム、それが一番観光PRに対しては有益なSNSのツールだと聞いております。この名古屋圏内でも何十万人とフォロワーを持っている女性が皆そうですが、そういう方はインフルエンサーと言われるそうですが、影響力大きいツールをもっと有効に観光PRには必要ではないかと思っています。

参加者 東美濃のことは、なかなか理解できなかったもので、半分、青い。の中の架空の都市から

出てきて、多分そこから発展してきたと思っていましたが、、、

座長 逆です。逆です。こちらからお願いし設定していただきました。

参加者 そういう名称で、進めていかれるという戦略を持っていらっしゃる情報の情報は知りませんでした。朝ドラや大河ドラマがロケ地になる機会はなかなかないので、そういう機会を使い広報して、先ほどおっしゃったように、SNSなどに注力してPRを上手にやっつけていかることで、継続としました。

座長 ありがとうございます。6市の商工会議所の私らがNHKに行きまして、この地域の名称を東美濃にとチーフプロデューサーの勝田さんに頼んできたものです。ただ私も東美濃という地名については、一番最初にいろいろな会議に出席したとき、反対したのは私でした。イメージが全然わかかなかったからです。東美濃というと、やはり中津川とか恵那とかあちらの方の感覚しかなかったのですから、自分自身この東濃地域に30年40年住んでおられますも全然イメージがわかかなかったものですから反対しました。ですが、やる限りは一生懸命東美濃でやってきましたけど、将来的にはもっともっと、SNSで広域PRしていかななくてはならないと思っております。そのほか何か、これにつきまして、よろしいですか。それでは継続ということでよろしく申し上げます。次に、10番目の観光情報発信事業でございますが、皆さんいかがでしょうか。これにつきましては、ほとんどの方がB、◎評価、継続、一部の方で発展になっておりますが、ほとんどの方が一致した御意見でございますが、いかがでしょうか。

参加者 今度は瑞浪市という部分になると思いますが、当然やっつけていくべきことだと思います。ただパンフレットであるとかポスターというのは本当に一部に限定された人しか見ないかと思っておりますので、最近、湯布院、別府でしたが、やたらおもしろいYouTubeを作っているところがありましたけど、やはり映像に訴える部分っていうのは、意外と効果的かと思っておりますので、例えばそれをコンペして、職員でも出して、市内の人に作っていただくとか、そういうようなことをしてもいいかと思いました。あと、別になります。先週平日に馬籠に仕事に行った際、平日にもかかわらず、バスが10台ぐらい停車し、外国人ばかりという状況を見たら、そこまで来ているのだったら何か瑞浪にも呼び込めないのかとすごく感じたので、それだけ外国人がいるのであれば、何か方策を練っていけるのではないかと思いました。

座長 ありがとうございます。そのほか何か。御意見があればよろしく申し上げます。今言われたことは全くそのとおりでございます。本当に岐阜県にも相当な欧米の方が観光に来ています。特に中仙道には土曜日、日曜日、祭日になると、日本人より外国人の方が多く歩いているような状況でございますので、いかにそういうビジョン(インバウンド)を取り込んでいくかというのが、これからの観光事業の重要なものであると思います。外国人だけでなく日本人も、もっと岐阜県に呼び込めるような方策が必要ではないかと思っております。ただこの目標値が148万人で、実績値が141万人となっておりますが、このうち4割ぐらいがゴルフ場かと思っております。それ以外のものをもっと増やす方策が必要かとも思っております。何かこれにつ

きまして、皆さんほとんどが一致した御意見でございますので、継続ということでよろしいでしょうか。それでは続きまして11番目のみずなみ焼等販路開拓支援事業につきまして、何か御意見があれば伺いたいと思います。これはほとんどの方が、D評価、見直し改善ということでございますが、いかがでしょうか。

参加者           やはり陶磁器関連業者が減少基調にある中で、そもそもの事業名の名称自体がまず、もう少し開かれた様々な業界の方が活用できるような名称に変えるべきだと思いますし、それ以外の業界の方を呼び込んでやっていかないとやはり効果としては限定的になるのではないかと思いますので、そういう意味で改善が必要ではないかと思います。

座長             ありがとうございます。その点いかがでしょうか。

参加者           おっしゃられたとおりですけれども、いろいろな業界の方が利用しやすいというか、今の本社のセクションの者と地域商社的なところで例えば何か企画するとき、最初に自治体のホームページを見て事業者向けに補助金事業があるのかとサービスの一環で見えていますけれども、瑞浪市のホームページからあまり拾えない、正直どこにあるのかとも言われたことありますし、やはりそういう中で、みずなみ焼をPRしていくというのも一つなのですが、これからはやはり幅広い業種の方に利用してもらえるような形で、せっかく販路開拓支援ということであれば、また業種に対しても、やはり事業者が見てわかりやすい利用しやすいPRをやっていただければ大変ありがたいと思います。

座長             ありがとうございます。おっしゃるとおりです。今、実際はいろいろな業界の方に販路開拓の関係では、みずなみ焼以外のものも相当出ていっておりますので、おっしゃるとおり名前を変更するとか何らかの方策も必要かと思えます。現実的には陶器以外の方も相当今ビッグサイトなどに出てみえますので、それも販路開拓の補助事業のうちの中に入っておりますので、見直しする必要があると思えます。そのほか何か、これにつきまして御意見はありますでしょうか。大体皆さんの評価でBとC、それから見直し改善と評価していただいておりますので、このような形でよろしいでしょうか。それでは続きまして、次に行きたいと思えます。雇用確保支援事業につきましていかがでしょうか。これにつきましては皆さんA、◎、継続と全て一致しております。何かこのほか御意見があれば伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

参加者           市内企業への就職は、大事なこととわかってはいますが、一方でやはり市内企業側の見せ方というのが市内企業も悩んでいるところで、どうやって高校生に魅力のある会社だと伝えていくことは、なかなか中小企業でそこまで見せ方というところまで、実際にやれるのかということに関しては、これを市がサポートするのか商工会議所でサポートしていくのか、どこかでというのはあるかもしれませんが、せっかくこういう市内企業の説明会をやるのであれば、逆に企業が見せ方へのフォローもできるような形になると、より高校生が安心して就職ができて、市内の企業への就職率が向上するのではないかと思いますので、そちらの観点

からも見ていただけると、よりよい事業になっていくと思います。

座長                    ありがとうございます。

事務局                コメントのしようもないといいますが、最もだと思いますが瑞浪市で言いますと、市の情報発信も下手なのに人にアドバイスができるかという話もありますが、こういう場を設けるというところでも、今年2年目が終わって来年3年目という段階ですので、おっしゃるとおりだとは思いますが、なかなか各企業の見せ方、その企業展のやり方までというのは厳しいかと思っています。

座長                    今、県の人サポから来ていただいて2回ほど企業側に対して講演会、説明会をやりました。それによってやはり、求人の方、自社企業のPRの方、そういうものが重要だということが皆さんわかりつつあるところでございますので、そういうものもあわせて一緒にやっていくと、これからももっとよくなるのではと思います。募集の仕方がわからないですから、なかなかPRの仕方がわからない、そういう企業が非常に多いので、そのあたりが非常に重要なところかと思っています。それでこれはほぼ皆さん一致した御意見でございますので◎、継続ということでございますので、これにつきましてもこれで確定していきたいと思っております。続きまして創業支援事業計画推進事業につきましていかがでしょうか。これも皆さん、全く一致した御意見でございますが、これにつきまして御意見があれば伺いたいと思っております。私から皆さんにPRしたいと思っておりますが、創業支援補助金というものについては、瑞浪市の場合、本当に他の市町村と比べて非常に手厚い補助金が出ております。正直言いますと操業するということは、今の時代は非常にやりやすくなりました。融資も受け入れることができますし、そういう補助金もあるということでございます。ここに十六銀行、大垣共立銀行の方がお見えになりますが、私のいた金融機関では、今から20年30年前に操業するに当たっては、融資も受けられなかった状況です。自己資金で経営してみて、それから結果出たら融資してあげるくらいのことが、一般の金融機関でございました。それが今は創業から融資が受けられる、補助金も操業にかかった3分の1の上限500万円までは瑞浪市から補助金を支援していただける。というような本当に手厚い、他の市町村にない補助事業だと思っておりますので、継続してやっていただきたいというのが私の意見でございます。そのほか何か。これはよろしいでしょうか◎、継続ということでございますので皆さん一致した御意見でございますので、これで終わりたいと思っております。続きまして企業立地促進事業につきまして何か御意見があればと思っておりますがいかがでしょうか。

参加者                企業立地促進事業というのは、企業に市が働きかけて促進してもらうことでよいですか。

事務局                企業立地促進事業といえますのは、企業誘致を促進するために新たな工業用地を創設するというもので、例えば、釜戸中学校に司企業が来られましたけども、中学校が閉校になったことで、学校を壊してしまうのではなくできるだけ有効活用することで、建物を残したままの状態を買っていただく企業を探す。あと、瑞浪市内に企業誘致に適したところを過去に

調査しましたがあまり適地がありません。そういった候補地を探しつつ、企業に来ていただける環境整備を行う事業と御理解をいただければと思います。具体的には、釜戸にあります生活の木の前の整備も同事業と御理解ください。

参加者           ありがとうございます。先程の高校生の地元雇用の件もありますし、新たな市内での雇用が増えるようにと思います。あと、まだ働きたく結婚年齢が高い方でも退職された方でも元気な方が今たくさんいらっしゃるの、大きなところがたくさんできれば、何かしら働けるところができるということで、継続でお願いします。

座長             ありがとうございます。そのほか何か御意見あればお願いします。

参加者           企業立地企業誘致で雇用創出を増やすことは非常にいいことだとは思いますが、一方で、いろいろお客さんのところ回っているのですが、やはり皆さん雇用に困っている企業が多く、今何が一番困っているのかというやはり人です。いちごっこになるのですが、やはり大手が来たら親御さんはそちらに就職させたい。逆に今度は、中小企業には地元の企業から移られる方も出てくれば残られる方も見えるのですが、今までの市内の企業の雇用確保に配慮として、両輪でサポートしていくというような形で考えていただけると非常にありがたいと思います。

座長             ありがとうございます。いちごっこのような感じで、非常に両方両面、重要なことだと思いますので、それを踏まえて、継続でよろしいでしょうか。それでは、次にいきたいと思いません。瑞浪北中学校施設整備事業につきまして、いかがでしょうか。あとはハード面については今完璧にすばらしい校舎ができましたので、いかにソフト面で運用をどうしていくかということ、きちっと考えてやっていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。それではこの事業は終了させていただきます。それでは次に応急手当普及啓発事業につきましては、いかがでしょうか。

参加者           教育の現場でそういった機会があるのはもちろん大事だと思いますが、一般の方への呼びかけも、本当に南海トラフ地震の確率が80%くらいまで高まっているので、一般の方への呼びかけを強化していくことも大切かと思ひまして、今私は防災番組を担当しているのですが、みずなみ防災会の皆さんには大変お世話になっていまして、本当に瑞浪市は自治体で力を入れていらっしゃるとうごく多治見、土岐と比べましても感じる場所ですので、知識が豊富な防災士の方たちがたくさんいらっしゃるの、そういった方にも御協力をいただいてより多くの方に参加してもらう機会を、ターゲットをそれぞれ絞って時間帯とか場所だとか、いろいろなところで設置してPRをしていけば、より多くの方が知識を得られるのではないかと感じました。

座長             ありがとうございます。貴重な御意見ありがとうございます。そのほか何かございますか。

事務局           ありがとうございます。確かにおりベネットワークは、防災を定期的に、防災について情報提供をいただいています、みずなみ防災会も取り上げていただいて番組の中で、紹介していただき本当にありがたく思います。民間の方々が自主的に防災の大切さ自助共助の取り組みを紹介していただけていますので、おりベネットワークにも情報提供の部分で大変お世話になっていますけれども、本当に瑞浪市は防災会の方々のおかげで、多治見、土岐と比べても、実際にそういう人たちがいるかいないかだけでも全然違うと思いますので、そういうことも含めてこの応急手当普及啓発事業に1人でも多くの方にバイスタンダーという形で、その場に居合わせてすぐに最低限の救急救命ができる状態というのは本当にすばらしい、本当にまちの魅力だと思いますので、人の力といいますか職員の人手というところもあると思いますけど、消防署の方にも、お褒めの言葉と同時に、そういった御意見をお伝えしたいと思います。

座長            ありがとうございます。何かそのほか御意見あればと思います。皆さん全くほとんど一致した御意見でございます。見直し改善ということでございますので、これで確定したいと思えます。よろしいでしょうか。それでは続きまして17番目の防犯灯設置事業につきましてよろしくお願ひします。いかがでしょうか。皆さん一致した御意見でございますが、何かあればお願ひします。今、確認しているところでは100%設置したということでございますが、これからもっともっといろいろな地域で意見を聞きながら、拡大していただくように継続をお願いしたいということでよろしいでしょうか。全く皆さん同じ御意見でございますので、これで確定したいと思えます。次に行きます。健康診査事業につきまして、御意見あればと思います。これは皆さん終了ということでございますが、ほとんどが一致した御意見でございますが、この事業について終了ということで何かほかを新たにということでしょうか。

事務局           この事業につきましては、無料のクーポン券を廃止ということで、代替で何かというのは今のところ聞いてないです。

座長            いかがでしょうか。皆さん終了という御意見でございますが、確定でよろしいでしょうか。それでは、続きまして、19番目の一般介護予防事業につきまして何か御意見をよろしくお願ひします。これはばらつきがございますが、いかがでしょうか。

参加者           予防事業自体は、私も非常にいいと思いますが、平成28年には目標値を達成し、平成30年度は1000人以上減少しているということで、継続するにしてもやはり、要は1000人も違うのは何か要因があると思いますので、そのあたりを明確にした上で、今後どのように継続していくのかを考えるのが、この事業に対してよりよい効果が得られると思いましたので、見直し改善という評価をさせていただきました。

座長            ありがとうございます。何かそのほか御意見あればと思いますが、当然継続も必要ですけど、若干の見直しということもしていく必要があると思います。見直し改善ということにさせていただきます。いかがでしょうか。何かそのほか御意見あれば承ります。それでは継

続ということでございますが若干の見直しもお願いするということでよろしくお願ひしたいと思ひます。最後になりました、地域宅老所補助事業につきまして、何か御意見があればと思ひますが、これも高齢福祉に対する事業でございます。皆さん継続、見直し、ほとんどが同じような御意見でございますが、団塊の世代が後期高齢者になってきたときにまだまだ非常に不足している状況です。実際私の個人的なことです、今家内と2人で、母親の介護をしております。本当に介護というのは大変です。今身にしみて私自身は感じているわけですが、そういうことを思うと、やはりこれから高齢社会になると必ずこういうことは避けて通れないことだと思ひますので、もっともっと、継続改善しながら継続していただきたいと思ひている状況です。そのほか何か御意見があればと思ひます。それでは、継続、一部見直しということでお願ひしたいと思ひます。よろしいでしょうか。

これで、20事業につきまして、皆さんの御意見をこちらから御指名させていただくなどして進行させていただきました。誠に恐縮でございましたが、20事業の意見交換につきましてはこれで終了させていただきたいと思ひますがよろしいでしょうか。

次に、次期総合戦略の見直しに向けた視点に対する意見について、23ページに意見を記載しています。確認いただき、何か御意見があれば承りたいと思ひますがいかがでしょうか。これにつきまして、まず事務局から補足説明をお願ひしたいと思ひます。

#### 事務局

皆さま方に第1回目の推進会議で、瑞浪市の次期総合戦略の策定方針を御説明させていただいた上で、次期総合戦略の見直しに向けた視点(資料4-3)を御説明させていただきました。これについての御意見をいただきましたので、ここに記述させていただいております。まず、人口ビジョンと総合戦略の2段階で瑞浪市の総合戦略が構成されておりますが、まず人口ビジョンについては、瑞浪市の人口は3.5万人から4万人を推移してきたことを考えれば、目標人口を4万人とするのは、違和感がないという御意見をいただきました。現行の総合戦略を第1期と言わせていただきますが、皆さまが今回評価していただいた第1期の総合戦略の基本施策をそのまま踏襲していきたいということで、御説明申し上げたところ、それにつきましても、二つが人口、二つと言いますのが「人口流入の促進」「定住化の促進」で、目標人口を達成するための基本戦略であるとの御意見をいただきました。「健康寿命の促進」「協働によるまちづくりの活性化」というものが、重要な施策になるという御意見をいただいております。こうした御意見を踏まえ、人口ビジョンについては、当面4万人という目標を掲げたいと思ひます。よろしくお願ひします。続いて、総合戦略の施策部分に対する御意見ですが、市民アンケートから出られた結果に基づいた評価を見ますと、D評価が半分以上占めていたということで、その件について御意見をいただいております。むしろD評価よりも、A評価の部分重視の方がいいのではないかと御意見をいただいております。例えば「子供を産み育てやすいまち」「働きやすいまち」「学校、家庭、地域が連携して子どもの成長と安全を支えているまち」というところが、重要です。ここは引き続き評価していったほうが良いと捉えております。さらに瑞浪市の目標人口を達成していくためにはということで、皆さま方からいただいた御意見の内容と、先ほどの評価の内容とも重複しますが、近隣市と差別化を図る、差別化というのがキーワードになってくるかと思ひますので、そういった部分でも、強化していただくと、また、市や県からの視点ではなく、あくまでも市民

目線での戦略を考えていただきたいという御意見をいただいております。これにつきましては御意見として承りまして、実施できるところを反映させていただいていくということが基本となります。当初お示しました次期総合戦略策定方針に基づき、今回皆さまからいただいた評価の結果を反映したものを、次期総合戦略という形で繋げていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

座長                    ありがとうございます。これにつきまして、皆さんが何か御意見があればと思いますが、やはり人口4万人というものが一つのキーポイントではないかと思っておりますので、それに向かって、目標を立てていただいて、次期総合戦略でもやっていただくというのが必要かと思っておりますし、今言われたようにやはりいいところをもっと瑞浪市の魅力を発信していくということが、重要かと思っておりますので、そういうことも取り入れてやっていけたらと思います。何かこれにつきまして御意見あれば承ります。

事務局                    補足させていただきます。人口4万人と言いますと、最大時は平成12年度頃に4万2000人から今はもう既に5000人くらい減っています。今から5年後に4万人を達成できるのかと、もう現実と乖離しているのではないかという御意見はあると思っております。私どももそれは承知しておりますけれども、我々は国が総合戦略を策定して人口減少に歯止めをかけるようにと言われる前から、平成26年度から令和5年度までを計画期間とする第6次瑞浪市総合計画の中で、人口問題を重点課題と捉え4万人を維持するということを目指して、各施策を位置づけ取り組んでいます。平成31年度からは後期基本計画が始まっておりますが、同様に目標人口は4万人としております。現状申し上げますと、何もせずにいるよりは、瑞浪市の人口の減り具合は少ないと思います。ただやはりそういった現実離れし過ぎているのではという御指摘は十分承知の上、できる限りのことを行って、今回皆さま方からいただいた意見を踏まえながら少しでも瑞浪市の市民力の差別化を図っていく中で、瑞浪市総合計画の計画期間に合わせ、令和2年度から令和5年までの4年間は、4万人を目標とした次期総合戦略を策定していきます。第7次の総合計画を策定するときには現実的なところで将来を見通した上で頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

座長                    ありがとうございます。このまま何もしなければ大変なことになりますので、頑張りたいと思います。先日、神岡に行ってきたときに、神岡は平成13年に1万7000人ほどでしたが、今は7000人しかいません。17年間余りでそれを思うとまだまだ瑞浪市は1割強減っただけですから、50%から60%くらい減っている市町村も岐阜県下にありますので、今手を打てば何とかなってくると思います。本当に2040年には2万9500人くらいになってしまうという推計も出ておりますので、今手を打つ必要があると思っております。瑞浪市は魅力のあるまちだと思いますので、それを期待して総合戦略を練っていただきたいと思いますがいかがでしょうか。それではこれで終了してよろしいでしょうか。それでは皆さんの御意見をいろいろいただきました全てについて皆さまから御承認がいただけたものと思います。今回第3回を最終回としまして、意見書をまとめさせていただきます、私が代表して市長に意見書を提出することになると思いますが、御了承願ひますでしょうか。ありがとうございます



す。それではこれで本日の議事は全て終了いたしましたので、事務局に引き続きさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局

皆さま長時間の慎重審議本当にありがとうございました。冒頭も述べましたが、企画政策課だけが皆さまの御意見を聞くのではなく各課担当を来年度から1人ずつでも聞かせたいと本日思いました。本当にありがとうございました。全体を通して何か御意見御質問があればお願いします。皆さま一同にお集まりいただく会議は、最後になります。御質問等はありませんでしょうか。それでは、今回の報酬について御説明させていただきます。次期総合戦略は、皆さま方の御意見を踏まえ、パブリックコメントを行い来年の2、3月くらいまでに策定するという流れで考えております。それまでにもしかしたらまた御意見を聞く機会があるかもしれないということで、今回で会議は閉めさせていただきますが、次期総合戦略が策定できた後に、報酬を一括でお支払いさせていただきますので今年の収入にはならないというところで、申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。さらに意見書については座長と事務局で調整させていただきますけどもその内容がまとまった段階で、皆さま方に第3回会議録(案)と意見書(最終案)を郵送させていただきます、御意見を調整の上、意見書を座長から市長に提出するという流れで進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、最後に座長より閉会の御挨拶をいただいて締めたいと思っております。よろしくお願いいたします。

座長

本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして本当にありがとうございました。第3回目は皆さまの2次評価と次期総合戦略につきまして、意見交換をさせていただきました。各分野での御活躍の皆さんの御意見を何とか市政に反映できるようにと思います。本会議が地方創生の一助となることを祈念いたしまして閉会とさせていただきます。誠にありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。それでは、以上をもちまして、令和元年度第3回瑞浪市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を終了いたします。どうもありがとうございました。